

◆評価コメント（案）

【申請団体①セリオ】 Ⅲ南部

本申請団体は、「家族の笑顔があふれる幸せ創造カンパニー」を企業理念とし、放課後事業等を実施しており、放課後事業は、すでに大阪府等で放課後児童クラブ、放課後子ども教室などを140超の小学校で実施してきた実績を有している。また、本申請団体は、枚方市のさだ小学校と山田小学校で先行導入した総合型放課後事業を令和3年から運営してきており、その運営実績は高く評価できる場所であり、その運営によって培った知見等も活用して、より一層、枚方市民等にとって有益な総合型放課後事業を運営していくことが期待できる。

また、児童の「生きる力」を育むために「自己肯定感」「思いやりの心」を、最も大切な力とし、児童の「やりたい」という気持ちを尊重することを運営理念としており、子どもの教育に目標を持ち、コツコツ頑張れる遊びを取り入れるほか、子どもの主体性を育むプログラムを取り入れるなど、市の基本方針にも合致している。その他、オープンスクエアと児童会室の合同行事や学校・保護者との情報共有、緊急時の取り組み等について、具体的な提案があり、特に、子どもの命を大切にすることとして、事故への対応などに関する計画については、評価できる。さらに、特に配慮を要する子どもや要支援児童への対応においては、職員の研修、コーディネーターによる巡回相談や支援のほか、対象児童とともに他の周囲の児童への配慮も示されており、適切に計画されている。しかし、日々の子どもの主体的な活動に対する取り組みなどの提案がなく、イベント重視の感がある。

経営面では、安定した事業基盤があり、就業者の離職率の低さや、人員確保についても余裕数を予定し、急な人員が必要な場合にも対応できる計画となっており、安心感がある。一方、予算については、細かい経費についての記載がないことから、今後、運営上問題とならないよう、適切な予算額を計上するようお願いする。

【申請団体②MK I】 Ⅱ中部

本申請団体は、高槻市において、地域とのつながりを大切にし、子育て家庭の就労を支えることを理念にして、ボランティア活動、民間保育事業等を展開しており、「未来のある子どもたちへの支援をしたい」「地域の子育て家庭の支援をしたい」との意識を持ち、枚方市の総合型放課後事業への熱い意気込みが感じられた。しかし、本申請団体の設立は令和2年11月であり、会社組織、経営基盤、運営体制や活動実績などに全般的な脆弱さがあることを危惧する。また、事業計画や各種マニュアル等について、具体性に欠け、今後の安定した事業運営には、不安が残ると言わざるを得ない。とりわけ人員確保や人員体制、職員研修など、質について不安を感じる。

地域に密着した本申請団体の存在は、今後大きな力になるものと考えており、一つの学区の事業の一部を担当する、あるいは、他の団体と協働してノウハウを蓄積するといったことなどの試みを通して、さらに体制を整え、組織を充実し、地域のために活動を推進されていくことを期待する。

【申請団体③テノ・サポート】 I北部、Ⅱ中部、Ⅲ南部、Ⅳ東部

本申請団体は、女性のライフステージを応援するため、放課後児童クラブ、放課後等の遊び場づくり事業を福岡県等において展開しており、実績が本事業の運営に生かされることが期待できる。とりわけ、児童会室の運営に関しては、実績に裏打ちされた魅力的な提案が行われている。例えば、全児童が参加できる活動の工夫、イベントの企画、枚方市のエリアの特性を取り入れた活動等を提案しており、今後は、子どもたちの発達段階に応じた自主性を尊重した活動の工夫、他学年との交流への支援など、さらに充実した活動を計画されることを期待する。なお、本申請団体の経営方針等は、女性の就労支援に力点があるので、オープンスクエアの運営については、本市が期待する事業展開をお願いする。

一方、今回募集の対象となった4か所のエリアすべてに応募されており、多数の職員を雇用する必要があるため、人材を確保できるかという不安と、予算に占める人件費割合がかなり低く、実際の人員配置についても多少不安がある。また、4か所すべての事業展開となると、運営管理上、疑問がある。

予算計上では、人件費に比べ、通信費や本部管理費などの計上が大きいことなど疑問点は残るものの、子どもたちが主体となって行事や遊びを行っているということについては、市の基本方針に合致したものと考えられる。学校・保護者との情報共有や緊急時の取り組みについても細かく説明がされている点は評価できるが、今後はより具体的な検討をお願いする。また、福岡を中心に事業展開されており、緊急時の対応が気になるため、大阪での迅速な対応をお願いする。

【申請団体④明日葉】Ⅰ北部、Ⅳ東部

本申請団体は、「すべての人が尊重される社会、会社を創りたい」との志から、多くの女性社員の働きやすい仕組みづくりをめざして、現在、放課後児童健全育成事業、放課後子ども教室推進事業等、多くの事業を実施しており、提案内容は、学校や地域との連携を重視するなど、本市の期待に添うもので、その実現可能性は高い。

事業運営に関しては、枚方市の方針と本申請団体との理念の整合性、事業方針と目標、育成支援内容を具体的に提案している。例えば、発達度合いに応じた関わり方を分けるなど、同様の事業を多く行っている経験を感じた。また、子どもの主体的な活動や学びについての取り組み内容が示されており、単にイベント重視の事業展開でないことが伺われた。なお、地域、特に枚方子どもいきいき広場活動と連携する中で、学校ごとの温度差もあることから、エリアごとの活動など具体的な検討をお願いする。

職員研修体制は、全国的な事業展開をしているスケールメリットを生かした、職員同士の情報交換やミーティングの実施、OJT、Off-JTなどの詳細な計画をしており、今後の人材育成に期待が持てる。

人材確保については、長年培ったノウハウを有し、全国および枚方市東部・北部エリアにおける求人方法等を詳細に示すほか、既存の職員の継続雇用に向け努力するとの方針である。また、近隣市で給食事業を受託されていることから、人員確保が難しい長期休暇時のスタッフ確保にも融通性があり、評価できる。

事業運営では、現場力の強化のため、標準化等の提案がなされているが、一方で発達段階に応じた対応といった個別性への対応をお願いする。

財務内容については、現実的な内容となっており、事業基盤も安定しており、安心できる。